

令和4年度 東区組織目標

組織名	東区	区長	石井 哲也
組織の目的・方向性	人口減少や少子高齢化への対応を最重要課題と捉え、「産業のまち東区」の特色や魅力を生かしながら、地域との協働による「まちづくり」「ひとづくり」を進め、人もまちも元気で心豊かに暮らせる持続可能な東区を目指します。		

東区組織目標

東区では、区ビジョンまちづくり計画で掲げた区の将来像の実現を目指して、これまで重点的に進めてきた「地域の力が活かされるまちづくり」、「魅力あふれるまちづくり」、「安心安全なまちづくり」、「支え合い助け合うまちづくり」、に向けた様々な取り組みを引き続き実施していきます。

この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 地域コミュニティ協議会、区自治協議会をはじめ地元の企業や大学などと連携を深め、協働によるまちづくりを推進し、心地よく暮らしやすい地域づくりを進めるとともに、地域の魅力の創出や活用に取り組みます。
東区の魅力発信と区民の誇りづくりのため、「産業のまち東区」のPR、歴史の普及啓発や文化の発信を進め、産学官連携プラットフォームの構築に向けて取り組みます。
- 2 地域と連携しながら区民のさらなる防災意識の向上を図ります。
- 3 高齢者が住み慣れた地域で孤立せず地域と関わりをもち、安心して生活できるように支援します。また、健康寿命延伸に向け、コミュニティ協議会と協働した介護予防事業を実施します。
- 4 子育ての不安感・孤立感を解消させ、地域で安心して子育てができるようにサポートを強化します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
	1 東区公式Instagramで継続的に魅力や情報の発信をしたほか、区内の企業や新潟県立大学、新潟大学が参画する「NIIGATA 産業教育観光デザイン会議」を立ち上げ、オープンファクトリーの開催に向けた検討を進めました。また、				

	<p>大学生を対象に東区内の企業等を巡るバスツアーを実施し、「産業のまち東区」に対する理解を深めました。</p> <p>2 5コミュニティ協議会の13避難所を対象に、避難所運営にかかるシミュレーションを体験するワークショップを開催し、防災意識の向上に努めました。</p> <p>3 民生委員協力のもと、高齢者への見守り訪問により個々の状況を把握し、必要なサービスにつなげることで、地域で孤立せず安心して暮らせるよう支援したほか、コミュニティ協議会との協働による介護予防講座を実施し、健康寿命の延伸に取り組みました。また、東区社会福祉協議会と協力し情報交換の場を設け、地域での支え合いの仕組みづくりを推進しました。</p> <p>4 引き続き「い〜てらす」や「わいわいひろば」での子育て支援講座を通じて、子育て世代同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に努めました。また、新たに男性の育児参加を促す情報交換会を開催したほか、育児動画をウェブで公開し、手軽な情報入手機会を提供しました。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</p>	<p>1 「ものづくり」と「ものづくりのまち」の魅力を伝えるオープンファクトリーの開催を支援し、区内外に多様な産業の魅力を発信するとともに、大学生が考案したアイデアについては、「NIIGATA 産業教育観光デザイン会議」で検討するなど、今後の取組みに活かしていきます。</p> <p>2 避難所運営ワークショップは、東区内全ての避難所を対象に実施するため、令和5年度は2コミュニティ協議会の6避難所を対象に実施します。また、今後の地域の防災訓練に避難所運営シミュレーションの取り組みを取り入れられるよう、引き続き支援します。また、若い世代を中心に関心を寄せてもらうため、「東区防災・安全安心フェスタ」を開催します。</p> <p>3 高齢者見守り訪問を引き続き実施するほか、「地域包括ケアシステム構築」に向けて地域の実情に応じた新たなしくみづくりを構築できるよう支援していきます。また、コミュニティ協議会との協働による健康づくり及び介護予防に継続して取り組みます。</p> <p>4 引き続き子育て支援講座を開催するなど、親同士の交流を促進しながら育児の不安感や孤独感の解消に向け取り組むとともに、妊娠期から父母双方に育児知識を得てもらい、知らないことによる虐待リスクの減少と出産後の不安感・孤立感を解消します。</p>